

# 「七里ガ浜ならではの交流」

## 学校交流の報告

私が水原外国語高校に行き、驚いたことはとてつもない勉強時間です。水原の生徒たちは毎日夜の11時まで勉強をしていました。異国の言語を学ぶにはものすごい努力が必要なのだと、身をもって体験しました。また、私たちとは一緒に韓国のゲームをしたり日本のことについてを発表を通してお話ししたりしました。そして私が一番驚き、七里ガ浜にも取り入れられたらなと思ったのが季節によって変わる中庭の装飾です。私が行った時は11月で、大学受験をする3年生への応援メッセージが学科ごとに貼っていました。とても綺麗でしたし、私が受験生だったらこんなに後輩から応援されたら頑張れるなと思いました。



## ホームステイの報告



ホームステイ先では2泊して交流を深めました。ホームステイを通して、日本と文化の違いを感じました。韓国語はスピードが速く聞き取りが難しかったです。それに日本語とは違うアントネーションの差が大きな壁だったと感じます。その際にバディの子が翻訳して教えてくれて嬉しかったし、もっと勉強して翻訳がいらないくらい上手く喋れるようになりたいと思う体験ができました。そして、日本語よりも喋るのが速かったり食べるのが速かった思い出があります。聞いてみるとスピード重視な文化があるそうです。なので、パリ（急いで）という言葉がよく聞こえました。飲食店などは注文してからの料理の提供や片付けも素早かった印象があります。また、食べる時には食器は持たずに食べることが礼儀であり、日本との食文化に差を感じました。それに加えて、食べ物を残すことも普通のことであると知りました。このような韓国の文化の中で身をもって韓国の言語やマナーを体験ができました。

## 姉妹校交流を通して学んだこと

異国の文化や言語を学ぶことのできる貴重な経験でした。日本と同じ言葉があったり、日本にもある料理だけどキムチが入っていて辛かったりと楽しい発見がたくさんできました。知らない文化を理解することはすごく楽しいのだなと感じ、他の国の文化や言語も学びたいなと思える四日間でした。自分がこの短い期間の中で成長できたことは確かだと思います。また、韓国語で会話ができるようになりバディの家族と会いたいという気持ちもあります。このような機会があることは、七里ガ浜高校ならではだと思います。高校生から海外交流を経験することで将来の夢も広がると思います。

